

群馬県の地域脳卒中センターに救急搬送された脳卒中症例の事後検証：第2報

Evaluation of inspecting records of stroke patients transported to regional stroke centers in Gunma prefecture: Second report.

公益財団法人 脳血管研究所 美原記念病院

脳神経外科 谷崎 義生

神経内科 美原 盤

伊勢崎市民病院

脳神経外科 中島 重良

前橋赤十字病院

脳神経外科 朝倉 健

館林厚生病院

脳神経外科 松本 正弘

公立藤岡総合病院

脳神経外科 甲賀 英明

【はじめに】我々は前回の学会で、群馬県の2次保健医療圏の地域メディカルコントロール協議会などの主催によるPSLS (Prehospital Stroke Life Support) コース開催の効果判定のため当院を含めた4病院で救急搬送された脳卒中症例の搬送確認書の事後検証を行い報告した。今回は、その後の効果判定を継続しているので、結果と問題点を報告する。【対象と方法】平成26年1月から7月に当院に救急搬送され、脳卒中と診断された159例を対象にした。搬送確認書にある1.脳卒中判断「脳卒中判断：顔面麻痺、上肢麻痺、言語障害、激しい頭痛、異常肢位、その他」、2.発症時間、3.最終食事時間、4.ロード&ゴー判断、それぞれの記載率および正解率を調査した。【結果】脳卒中判断：70.4% (112/159)、発症時間：72.3% (115/159)、最終食事時間 91.8% (114/159)、ロード&ゴー判断正解率：43.5% (10/28)であった。ロード&ゴー判断正解率の当院データでは(2011/11~2012/2:8.1%)、(2012/3~2013/7:21.1%)と確実に向上していた。【結論】脳卒中判断記載率は県内7病院の記載率調査(59.2%)より確実に向上していた。定点チェックとして記載率調査を行うことが望ましく、今後の課題として行政と協同した検証体制構築が必須と思われた。